

# コロナ禍での避難生活

新型コロナウイルス感染症の猛威は収まる気配を見せておらず、コロナ禍の現代では、災害に備えるだけでなく、感染症対策も考慮しなければなりません。集団生活となる避難所での感染リスクを軽減するため、次のような準備を行きましょう。 **問** 危機管理課（内線370）



コロナ禍での災害を想定した  
避難所開設訓練

## ◆災害発生前にすべきこと

### ▼自宅の危険性について確認

洪水発生時、どこまで水が来るのか、土砂災害の危険性があるのかなどを、ハザードマップや市ホームページ等で事前に確認しておきましょう。

自宅が危険だと判断した場合は避難所へ避難するか、安全な地域にいる親戚や知人宅等への避難を検討しましょう。



市ホームページ

### ▼必要なものの準備

避難するときは、可能な限り必要なものを持って避難してください。

例) 飲料水、食料、日用品、常備薬、体温計、防寒衣、マスク、アルコール除菌剤（なければウェットティッシュなど）



## ◆避難する時に気をつけること

### ▼感染症対策の徹底

避難所ではマスクの着用、手洗い、手指消毒、咳エチケットなどを徹底してください。また、気温に関わらず換気を行います。各自で暑さ・寒さ対策をお願いします。

### ▼衛生環境の確保

避難所では、衛生環境を清潔に保つことが大切です。手洗い場やトイレ等を衛生的に使用してください。

## ◆専用避難所の開設

避難所へ避難した人の中で発熱や咳症状があるなど体調の優れない人にも避難してもらえるよう専用避難所を開設します。専用避難所では簡易型テントを設置するなど、体調に配慮した対応を行います。

必要に応じ、一般の避難所から移動してもらうことがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

- ▼専用避難所：①旧野原小学校（野原中3-8-38）  
②上野公園防災力強化棟（上野町246番地）
- ※体調が優れない場合、専用避難所に直接避難するのではなく、まず危機管理課に連絡してください。

# いつか起こる災害



# に備えて

季節は初夏に入り、台風や集中豪雨による洪水、土砂災害が起きやすい出水期が近づいてきました。近年、各地で出水期の風水害により甚大な被害が発生しており、五條市でも平成23年紀伊半島大水害で尊い命が奪われました。また、巨大地震による被害も考慮しなければなりません。特に南海トラフ巨大地震は、今後30年以内に70〜80%の確率で発生すると推測されています。これらの自然災害から身を守り、被害を最小限に止めるためには日頃の備えが大切です。

## 耐震化緊急促進アクションプログラム

地震発生時は、住宅をはじめとする建築物倒壊の恐れがあり、人命に危険を及ぼし、避難経路の妨げや救助活動の支障となることが想定されます。

五條市では、これらの被害削減に向けて、住宅の耐震化をより一層促進するため、五條市耐震化緊急促進アクションプログラムを策定しました。このプログラムに基づき、右のような取組を進めていきます。（取組内容は毎年度検証し、必要に応じて見直します。）

**問** 建設課 建築係（内線279、378）

### ▼住宅所有者に対する直接的な耐震化促進

昭和56年以前に建てられた木造住宅を対象に、耐震診断（無料）の案内や耐震改修工事補助制度の説明のため戸別訪問を実施。（訪問地区には自治会を通じ、事前に回覧でお知らせします。）

### ▼耐震診断実施者に対する耐震化促進

市の補助で耐震診断を受けた人に、耐震改修促進を案内。

### ▼改修業者の技術向上等（事業者向け）

耐震改修工法等の説明会を開催。（県と共同開催）

### ▼耐震診断・耐震改修の補助制度

詳細は、広報五條6月号で案内予定。

## 泉佐野市と災害時相互応援に関する協定を結びました

3月29日、大阪府泉佐野市と「災害時相互応援に関する協定」を締結しました。この協定締結によって協力体制を築いたことで、災害での教訓や経験の共有、情報提供などを行い、災害発生時には迅速かつ効果的な対応が可能となりました。

五條市は同様の協定を他18市町村と締結しています。これら関係機関と連携しながら、災害に強く安心して暮らせるまちづくりをさらに進めていきます。



写真左から、千代松市長（泉佐野市）と太田市長